

8-3-13 選定・契約専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

委員会開催回数：令和3年度7回（4月～3月、Web会議、対面会議を含む）。

専門委員会の開催は企画部会、業務システム委員会等のアドバイスに基づき担当WGの検討項目を審議した。下記活動報告書は協会会員への情報提供として協会ホームページに掲載する。

(2) 適正なプロポーザル、総合評価落札方式検討

a) プロポーザル・総合評価落札の各方式の現状把握及び年次報告書の作成

プロポーザル方式の拡大を踏まえ、各発注機関の実施状況把握を目的に協会会員企業へアンケート調査を実施し、結果を取りまとめた。

作成経費の推移、課題や改善点を整理とりまとめ、概要版、報告書を作成した。会員企業の問題点認識に対する分析結果は白書に掲載した。

b) 国土交通省の総合評価落札方式のデータ収集整理、課題と適正な選定方式の提案及び報告書の作成

各地方整備局の入札調書開示データを収集し、契約形態別の発注件数、金額、競争入札の落札率、総合評価落札方式の落札率、技術点差、無効率、逆転率等の把握と課題を整理した。

四半期毎に概要版、半期毎に報告書を作成した。分析結果は白書、要望と提案にまとめた。

c) 積算の効率化に向けた現状と課題の検討 既往活動の成果により各地方整備局では積算条件などが開示され、一定の改善効果が認められたため、一旦活動を休止した。

(3) 地方自治体への技術による選定の普及提案

地方自治体の選定・契約制度の現状把握と報告書の作成。未来塾対応を併せて実施した。

a) 都道府県・政令指定都市の入札契約方式等に関する実態調査（継続）

地方自治体の選定・契約制度（指名基準入札契約方式、成績評定、優良業務表彰等）の現状を把握するため、各支部へアンケート調査

を実施した。総合評価落札は発注件数、発注率とも経年増加傾向と把握され、取りまとめ結果は報告書、白書に掲載した。

b) 都道府県・政令指定都市の価格競争案件における技術競争の可能性調査

建コン16社にアンケートを実施し地方自治体から価格競争で受注した業務数から技術競争の可能性のある大型案件業務の受注件数を把握し技術競争が可能な案件割合を推定した。検討結果について要望と提案としてまとめた。

(4) DX推進(テーマ1)契約段階・納品段階の対応

受発注者協働による働き方改革を目指した、建コン推進DXの取りくみ内容を具体化し「あるべき姿」を設定した。

「電子入札システム」「電子契約システム」の現状機能、運用実態、追加機能についてアンケート調査・分析し取りまとめた。業務形成委員会と連携して未来塾対応を行うとともに要望と提案、報告書としてまとめた。

2. 企画部会・業務システム委員会等との関連

(1) 「要望と提案」と「白書（現状と課題）」

要望と提案、白書は対外活動部会等の提示により「技術力による選定」の原案作成及び、関係するバックデータを作成。DX推進(テーマ1)については要望と提案としてまとめた。

(2) 中期行動計画実施計画のフォロー

当専門委員会に関する年次計画及び実施計を作成し実施状況について活動報告を行った。

3. 次年度の活動について

(1) プロポーザル及び総合評価落札方式のアンケート、現状把握と基礎データをまとめる。

(2) 適正な総合評価落札方式を各地方整備局の発注、落札実績から課題整理し改善提案する。

(3) 都道府県、政令市の選定・契約制度の実態調査と価格競争案件の技術競争可能性を検討する。

(4) 地方自治体への技術競争普及提案のため、特徴的な自治体へヒアリング行い、他自治体に拡大のための提案をまとめる。

(選定・契約専門委員会委員長 飯沼 達夫)